

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4070300621		
法人名	有限会社 ほうらい		
事業所名	グループホーム ほうらい小芝	3階	
所在地	福岡県		
自己評価作成日	平成25年7月26日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 福祉評価センター		
所在地	福岡県北九州市戸畑区境川一丁目7番6号		
訪問調査日	平成25年8月8日	評価結果確定日	平成26年1月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ゆっくり、のびのび、楽しく！！」をモットーに入居者の皆様が、日々明るく過ごして頂ける様に努力しています。特に行事・レクリエーションに力を入れています。またボランティアの受け入れを行い、親睦・交流を図っています。
好きな食べ物・今食べたい物を聞き、外出レク等の時に皆さんと一緒に食事や外出を楽しむようにしています。
利用者の'できる事'を見極め、体調に配慮し毎日の日課として'役割'を持って頂き、スタッフとコミュニケーションを語りながら'参加'して頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり、のびのび、楽しく!!!」 ミーティング開催時において理念を呼称している。 日常生活における介護、レクリエーション・行事等の処遇に意識付けを図っている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・子供山笠・戸畑祇園大山笠 ・フルート、オカリナ、ピアノ演奏(ボランティア) ・三味線、尺八(ボランティア) ・南沢見地区年長者ふれあい会参加 ・南沢見地区どんと焼き・南沢見地区合同避難訓練 ・出張握り寿司 ・戸畑川夏祭り		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学や電話での相談等で本人の状態にあったアドバイス等の支援を行っている。 また、ボランティア等の受け入れを積極的に行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域活動、ボランティアの受け入れをしている。 ヒヤリハット、虐待防止の取り組み、入居者の処遇・健康管理・入退院報告、利用者の入退居報告、行事報告、職員研修の報告、等の話し合いをしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議等により、当事業所の実情やケアサービスの取り組みを報告し、区担当者からアドバイスを受けている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	担当者会議、月1回ミーティングを開催し身体拘束の取り組みについて話をし身体拘束禁止に努めている。 不審者の侵入があったため、1F非常口の鍵は施錠している。(警察に相談) ※ベット4点柵・車椅子の安全ベルト禁止等		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回ミーティングを開催し利用者同士のいじめ・暴言等に注意を払いトラブル防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	H19年に入居者の家族で成年後見人制度を利用した方がいたので、ミーティング時に簡単な話し合いをしています。・・・現状では成年後見人制度を利用したいご家族はいますが、将来を心配されているかたがいたらその都度家庭裁判所に申し立て手続き、鑑定調査の内容等の説明を行う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を掛け、十分納得されるまで、お話をし誤解のないように努めている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と談話し、日頃の不安やストレスを溜め込まない様に対応している。またご家族の面会時に意見や要望を聞くようにしている		
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時、意見や提案等を聞き入れ、ミーティングで話し合いをしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自の家族構成を把握し、家庭に支障の無い様、働きやすい職場にする為に努めています。 各時の得意分野を生かし役割分担をしています		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から除外していない。 また事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。		
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	すべてにおいて、自分と入居者を置き換えどうして欲しいのか・嫌なのかをまず考え自分と同じように入居者の人権を尊重する意識付けを図っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望により職員の研修(育成)を行っている 研修後はミーティング等で報告し学んだ事を取り入れサービスの質をあげるよう目指しています		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人が運営する介護付有料老人ホームと地域の同業者との情報交換等を行っている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前に面談し、生活史・生活習慣や趣味等を聞き出し、コミュニケーションを図っています		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に事前に面談し、施設サービス・日課等納得行くように説明をし、家族の要望を踏まえ入居者のニーズにあったサービスを行うように説明をしています。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日頃より談話等のコミュニケーションを図り要望や相談があれば、応じている		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として相談をしたりアドバイスを頂いたり談話等で共に喜怒哀楽を共感しお互いの良い関係作りを目指しています		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ワーカー各自入居者の状態を把握し家族面会時に日頃の様子等話せるようしています。		
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近郊に自宅がある方が多い為、公園や良く行っていた場所など散歩やドライブ等をしています。また家族に協力して頂き一緒に外出する機会をつくっていただいています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	ワーカーが入居者同士日常の会話等のきっかけづくりを し楽しく会話出来る様にサポートをしています。また各自 居室に訪問しコミュニケーションを図っています		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族の方施設相談員の方に連絡や面会をし ています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	各自居室に馴染みの物を持参して頂いて馴染みの空間 づくりにつとめています。新聞を取るなどしていつでも見 れるようにしています。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	家族との話し合いにより、情報収集をし本人との面会を しADLや認知症状の確認をして総合的に現状を把握して いる。なお前施設にいた場合は主治医の情報提供を作 成して経過等把握できるようにしています		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	バイタル測定を毎朝行い本人の症状・状態を把握してい る。日々の歩行状態・顔色等気をつけリハビリ体操を行 い確認しています		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方につ いて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ れぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した 介護計画を作成している	毎日の身体の状況を把握し、ワーカー・看護師で話し合 いかかりつけ医や家族に相談し承諾していただき無理の ない介護計画をたてています		
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り帳(連絡帳)に現状・状態・実践等詳しく記入し ワーカー一人ひとりが把握できるようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の事情により、通院の送迎や介助・入院時の準備、お見舞い、ご本人の様子や病状等の確認しご家族に連絡をしている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の方々は現在も地域の老人会に参加しています。なお社会福祉協会を通し地域の方々に避難訓練に参加して頂いています		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の要望を優先にし、かかりつけ医への受診等通院介助を行っています		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に報告・連絡・相談をし入居者の状態を把握していただいています		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のソーシャルワーカーや看護師に情報交換や相談を行い医療連携を図っています。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の変化等あった場合状態、経過報告をし家族の意向を聞き相談しています		
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	地域の消防署に協力頂き、応急手当・心マッサージ・AEDの講習等を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署と連絡を取り2回/年の避難訓練・非難ロープの点検を行い地域推進会議等に報告し、地域の方々へご協力をお願いしています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや態度はもちろん排泄時のパット交換等ではプライバシーや自尊心を気をつけないよう配慮しています		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いくつかの選択肢を用意し自己決定できるよう促しています。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気の良い日等は、散歩へ行ったり、ベランダへ出れる方は日光浴をしたり花の水やりを一緒にしたり一人ひとりのペースに合わせ声掛けをしています		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問カットを利用しています。入居者各自好みの髪型を注文しカットして頂いています。各自使い慣れた化粧水を購入し使用できるようにしています		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる事を実践して頂きおやつ作りや料理の下準備、片付けなど各自声掛けし行っています		
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が立てた献立を基に各自食べる量や水分摂取量など一日を通して支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けをし実施しています。歯周病のある方など定期受診をしています		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間を把握し声掛けしトイレ誘導をしています。しぐさや行動を見極めトイレ誘導し便器での排泄を促しています		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日の水分摂取量確認、牛乳やヨーグルトを毎朝摂取しています。体操や体を動かすようレクリエーションに取り入れ実施しています。入浴時腹部マッサージを行っています		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の体調に合わせて入浴の声掛けを行っています		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターンを把握し、各自入眠を促しています		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りやミーティング等で薬の説明や副作用についてワーカーすべてが把握できるようにしています		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる事を実践していただいています。誕生会やボランティアによる催し、外出・外食・ドライブ等気分転換ができるよう行事計画を立てて実施しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調に合わせ買い物や公園へ散歩、ゴミ出し等行っています。ご家族に協力して頂き外出や買い物・旅行等実施しています		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今の現状お金の管理は難しく、家族の同意を得てホームで管理をしています。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があった際は電話の取次ぎや対応を行っています。年賀状や趣味で絵手紙を書かれている入居者は随時出しています		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月ごとに壁画をレクリエーションで作成し季節感を味わえるよう実施しています。心地よく過ごしていけるよう環境整備を行っています。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・テレビ等を配置し自由に使用出来る様配慮しています		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物や使い慣れた家具・寝具等を持ち込んで頂いています		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所等わかりやすく表示しています。シルバーカー使用の方の導線上に障害物のないようしています		